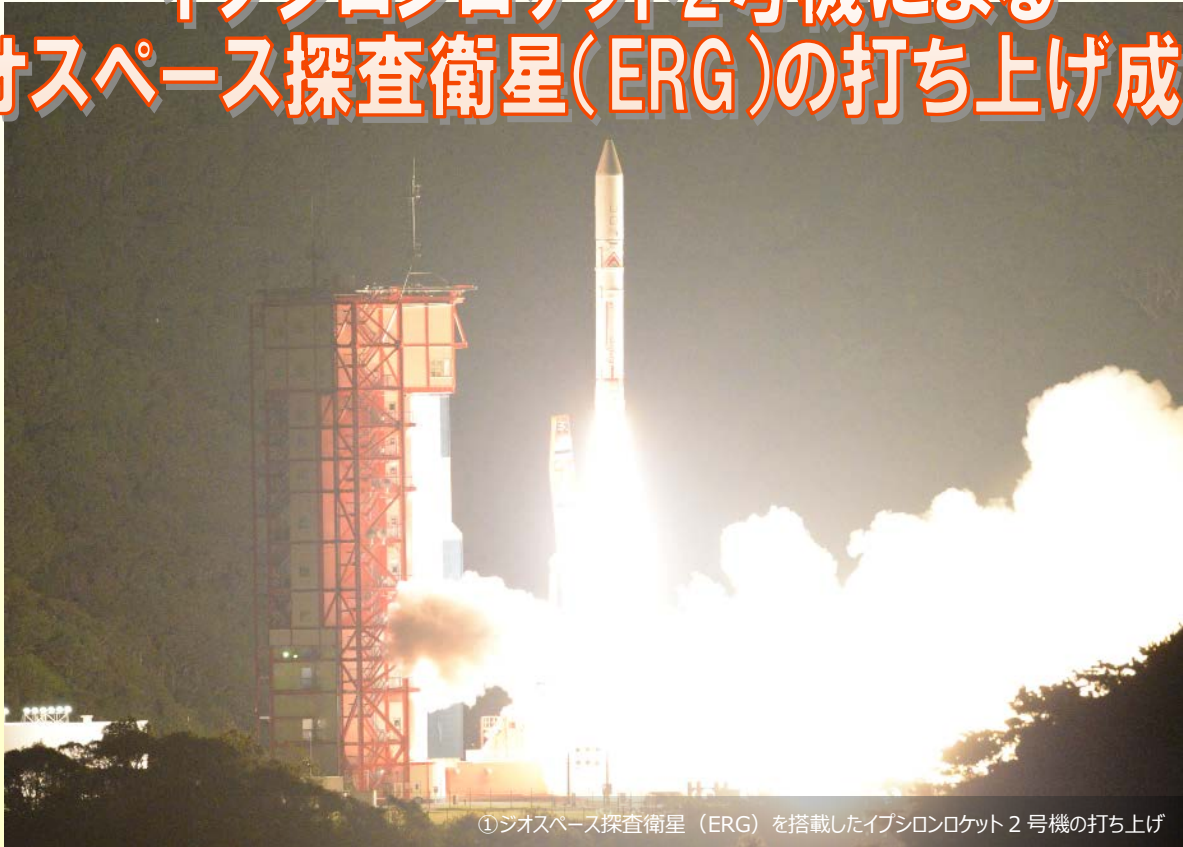


イプシロンロケット2号機による ジオスペース探査衛星(ERG)の打ち上げ成功!



①ジオスペース探査衛星(ERG)を搭載したイプシロンロケット2号機の打ち上げ

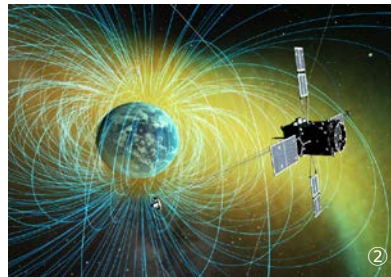
ERG衛星の愛称は「**あらせ**」。高エネルギー粒子に満ちたヴァン・アレン帯を宇宙の「荒瀬」と見立てている

12月20日(火)20時00分00秒、内之浦宇宙空間観測所からジオスペース探査衛星(ERG)を搭載したイプシロンロケット2号機が打ち上げられました。

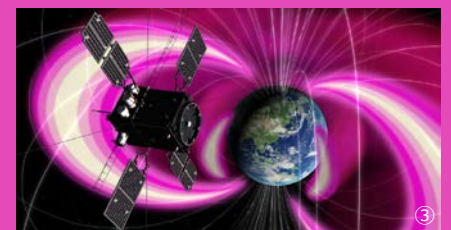
イプシロンロケット2号機は正常に飛行し、打ち上げから約13分27秒後に予定の軌道でERG衛星を分離、打ち上げは無事成功しました。また、約37分後に太陽電池パドルが正常に展開されたことが確認されました。

ERG衛星は約2ヶ月間の初期運用後に実際に観測を開始し、2017年春から地上からの遠隔観測とシミュレーションや総合解析と密接に連携しながら、宇宙嵐はどのように発達するのかなど、地球周辺の宇宙空間の放射線帯の謎の解明に挑みます。

捕らえる粒子。感じる電磁波。
～ERG衛星のミッション～



地球のまわりの宇宙空間(ジオスペース)は、太陽からのプラズマの流れ(太陽風)と地球の磁力のはたらきにより、地球の磁力のためにとても高いエネルギーをもつ電子やイオンが大量に捉えられている放射線帯(ヴァン・アレン帯)があります。太陽表面で爆発が起こると、ジオスペースでは宇宙嵐が起こります。人工衛星のコンピューターの誤作動や帯電、宇宙飛行士の被ばくを引き起こすなど、さまざまな影響ももたらします。宇宙嵐がどのように発達するのかを明らかにするために、ERG衛星はヴァン・アレン帯の中で粒子を捕らえ、その場の電磁波を観測します。



ジオスペース探査衛星(ERG)の愛称「**あらせ**(ARASE)」は、高エネルギー粒子に満ちたヴァン・アレン帯という宇宙の「荒瀬」に漕ぎ出していくことや、内之浦宇宙空間観測所のある、鹿児島県肝付町に流れる「荒瀬川」にちなんでいます。

さらに詳しく知りたい方はコチラ



ジオスペース探査衛星(ERG)/イプシロンロケット2号機特設サイト(ファン!ファン!JAXA)
<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/epsilon2/>

Spacei宇宙かわら版 2016年12月20日号

※「Spacei」はJAXAとJSFの共同事業です

問い合わせ先: Spacei事務局(一般財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典: ①～③JAXA

Spacei